

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 26日

中施策事業名	景観形成事業（屋外広告物）	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる		
④中施策事業の対象	屋外広告物		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	良好な景観が形成されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 景観行政 ・ 屋外広告物		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
違反広告物の除却 件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	20	15	10	10	5	5
	実績値	4	4				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				40千円	40千円
③ コスト (①－②)				-40千円	-40千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				-1 円	-1 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画どおりに事業を進めることが適当 除去件数自体は4件と少ないが、街の違反広告物が少ないことを意味しており、市内の良好な景観環境が形成されていると評価した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	違反屋外広告物のパトロールを定期的に行い、発見した場合は、違反広告物の除去と共に広告主に注意喚気を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	違反屋外広告物のパトロールを定期的に行い、発見した場合は、違反広告物の除去と共に広告主に注意喚気を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 26日

中施策事業名	空家等対策事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる		
④中施策事業の対象	適正に管理されていない空家等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	特定空家等に該当するかどうかの判定を行い、是正指導を実施し、特定空家等の解消を図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 空家等対策協議会 ・ 空家対策一般 ・ 空家対策に係る国費・県費補助		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
特定空家等の件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	1	1				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				1,530千円	1,565千円	
	a 事業費合計			1,530千円	1,565千円	1,605千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				1,125千円
③ コスト (①－②)				405千円	440千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				6 円	6 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A:計画どおりに事業を進めることが適当 特定空家の認定を1件に留めており、特定空家をはじめ空家所有者に対し、適正管理の指導が行き届いていると評価した。 空家等対策協議会においては、愛知県弁護士会にも新たに加わっていただき、より多角的な視点からご意見を頂ける協議会となった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	空家管理台帳に基づき、空家パトロールを行い、空家の状況確認及び指導を行う。パトロール結果を作業部会を経て、空家対策協議会へ報告を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	空家管理台帳に基づき、空家パトロールを行い、空家の状況確認及び指導を行う。パトロール結果を作業部会を経て、空家対策協議会へ報告を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	都市計画道路整備事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している		
②大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする		
③中施策	市内外の移動がしやすくなるように、道路交通網を整備する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の幹線道路である都市計画道路を整備され、市内交通の利便性が向上している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・都市計画道路の計画及び調整 ・補助幹線道路の整備 ・都市計画道路の見直し、都市計画道路の設計施工及び監督 ・都市計画道路の用地取得 ・用地買収地管理 ・用地買収地の目的外使用 ・高規格道路の連絡調整 ・豊明インターチェンジの整備拡充 ・第二東名高速道路高架下の利用 ・都市計画事業に伴う土地の試掘等の許認可事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
都市計画道路整備率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	78.3	78.3	78.3	78.3	78.3	78.3
	実績値	78.3	78.3				
	単位	%					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				2,520千円	12,454千円	
	a 事業費合計			2,520千円	12,454千円	26,868千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				184千円
③ コスト (①－②)				2,336千円	12,270千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				34 円	178 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 平成30年度の内山地区の市道桜ヶ丘沓掛線の開通後は、県道名古屋岡崎線の進捗に合わせて、沓掛地区の市道桜ヶ丘沓掛線と市道大根若王子線の道路予備設計業務を確実に行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度は、県道名古屋岡崎線に接続する、市道桜ヶ丘沓掛線の沓掛地区の修正予備設計業務及び用地調査業務を委託していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和5年度以降は、用地買収、移転補償を実施し、完了次第、工事を進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	市営駐車場管理運営事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	排気ガスの排出量を抑制する		
④中施策事業の対象	駐車場を利用する市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	駅前の駐車場の利用環境を整備することで利用台数を増やし、間接的に公共交通機関の利用を促進する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 駐車場法に係る届出の受理及び監督 ・ 市営駐車場一般事務 ・ 市営駐車場修繕等事務 ・ 市営駐車場料金徴収事務全般		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用台数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	80,000	80,000	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績値	135,285	140,724				
単位	台						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				35,280千円	17,686千円		
	a 事業費合計			35,280千円	17,686千円	9,600千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			35,280千円	17,686千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				513 円	257 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 令和元年度終わりからの新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の駐車場利用者数は、4.3%減少したが、令和3年度は4.0%増加し、令和元年度の利用者数まで、ほぼ回復した。また、令和3年度末で、前後駅前市営駐車場と前後駅南地下駐車場は閉鎖することを、広報、ホームページ、現地の掲示で周知を行なった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度からは、前後駅南月ぎめ駐車場と豊明駅南月ぎめ駐車場の2か所の月極駐車場のみとなるので、引き続き維持管理を適正に行い、利用者の満足度を高める。また、令和4年度には、前後駅南地下駐車場の償還金も完了するので、一般会計化を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き2か所の月極駐車場の維持管理を適正に行い、利用者の満足度を高める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	緑化推進事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	公園や道路に設置された花壇やプランター		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	花を植栽し、憩いと安らぎのある環境をつくりだしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・あいち森と緑づくり事業 ・ボランティア(花・アダプト) ・ペガサス財団との調整 ・二村山環境保全推進協議会 ・花壇維持補修修繕 ・花壇維持管理委託 ・グリーンフェスタ開催 ・種苗生産事業補助金 ・花いっぱい運動補助金 ・市民緑地 ・地域一括交付金 ・緑の募金 ・緑化コンクール ・緑の基本計画策定 ・開発指導要綱の緑地に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
フラワーボランティアが花壇に植えた花苗の数量	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	19,000	19,000
	実績値	18,872	20,689				
単位	苗						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				4,334千円	9,377千円	
	a 事業費合計			4,334千円	9,377千円	6,884千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				4,334千円	4,612千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				63 円	67 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 フラワーボランティア等の協力により公園の花壇に花苗の植え替えを実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は中止になったグリーンフェスタを開催し、緑化木の配布をしたり、ハンギング講習会を実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	今年度からは、都市公園の管理を指定管理者が行うので、協力し合い、ボランティアの育成及び募集を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	フラワーボランティアの新規会員の増加を図る必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	公園緑地管理事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	日常生活の中で自然を実感できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	公園、緑地		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設や樹木が適切に管理され、市民に安心安全な潤いのある空間を提供している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・二村山緑地整備事業 ・公園施設維持管理業務（点検・修繕・工事） ・樹木剪定草刈委託 ・維持管理委託 ・公園の光熱水費、通信費、手数料、保険料、負担金 ・土地借上げ ・公園台帳 ・占用許可、公園内行為許可、公園使用料 ・非常勤一般職員		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
樹木剪定や草刈りをした公園・緑地の箇所数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	65	65	65	65	66	67
	実績値	66	66				
単位	箇所						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				130, 546千円	121, 929千円	
	a 事業費合計			130, 546千円	121, 929千円	132, 197千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				103千円	103千円
③ コスト (①－②)				130, 443千円	121, 826千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 896 円	1, 770 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 昨年に引き続き、遊具の安全点検については、委託発注し有資格者による点検を行い、その他の公園整備については、職員がパトロールを実施し、破損等の事前発見に努め、適切な維持管理を行なった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	今年度からは、都市公園の管理が指定管理者によるものになるので、適正に管理されているか監視を実施するとともに、指定管理者による公園等の利用者からの意見聴取の結果に基づいた利用者へのサービス向上の施策を指定管理者と協議していく。また、二村山緑地、西大根市民緑地、仙人塚市民緑地は、引き続き、職員によるパトロールを実施し、事前に危険個所を発見し、適切に維持管理をする必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者と、協力し、都市公園の維持管理をしていく。引き続き、指定管理者による公園等の利用者からの意見聴取の結果に基づいた利用者へのサービス向上の施策を指定管理者と協議していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 26日

中施策事業名	都市計画事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	都市計画に関する現状が整理され、適正な都市計画が進められている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・都市計画の決定、変更 ・都市計画マスタープラン ・都市計画基礎調査 ・都市計画審議会 ・立地適正化計画		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市街化区域内の人口（百人未満切上げ）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	54,000	54,500	54,500	54,500	54,500	54,500
	実績値	52,000	52,500				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				213千円	12, 047千円		
	a 事業費合計			213千円	12, 047千円	778千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				213千円	12, 047千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				3 円	175 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画どおりに事業を進めることが適当 都市計画の基礎的なデータを整備するため、調査区域、人口について調査を行った。 県内の各市町村が行った都市計画基礎調査は、愛知県が取りまとめ、共同管理物として各市町村に調査結果の成果物が配布される。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き都市計画マスタープランに沿って事業の推進を図る。 令和3年度から新たなサイクルで始まった都市計画基礎調査の結果は、本市の都市計画マスタープラン等の策定のためのデータとして使われたり、大学などの都市計画関連の研究データとして活用される。調査結果の貸出についても愛知県と連携し、実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き都市計画マスタープランに沿って事業の推進を図る。 次期策定の第4次豊明市都市計画マスタープランについて、令和6～8年にかけて策定業務を行う。初年度の令和6年は、現状のデータや課題整理を行い、策定委員会設立の準備を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 10月 26日

中施策事業名	住宅・建築物耐震化促進等安全ストック形成事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備えて家庭での準備を促す		
④中施策事業の対象	旧基準の住宅・建築物		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	大地震が発生しても倒壊しないよう住宅・建築物の耐震化を図る		
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	・建築防災一般 ・住宅・建築物の耐震診断・改修 ・住宅・建築物の耐震化促進に係る普及・啓発 ・宅地耐震化推進事業 ・建築防災に係る国・県補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
耐震改修工事補助件数（H27年度からの累計）国・県の補助事業が令和7年度まで	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	86	91	98	105	112	119
	実績値	50	56				
単位	件						
啓発活動累計回数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	30	35	40	45	50	55
	実績値	30	35				
単位	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				10,623千円	9,153千円	
	a 事業費合計			10,623千円	9,153千円	12,716千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				6,733千円
③ コスト (①－②)				3,890千円	2,280千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				57 円	33 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A:計画どおりに事業を進めることが適当 耐震改修促進計画に従い、耐震化の促進、啓発に努めることができた。補助金も予定件数を超えて申し込みがあり、周知と啓発の効果があったと評価した。 また、無料耐震診断のPRの一環として、阿野区の一部で耐震ローラー作戦を実施した。これにより、耐震啓発を積極的に行う市町村として認められ、引き続き国費補助を受けることができる。 愛知県と連携を図り、除却補助について対象建築物の拡充に伴う耐震化率の促進を図る。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	耐震化率向上のための耐震改修は、無料耐震診断がベースとなるため、令和4年度も無料耐震診断のPRは、耐震ローラー作戦をはじめ、積極的に実施する。 愛知県は、耐震性のない木造住宅の除却について、対象建築物を拡充する要綱改正を行ったため、本市においても除却補助に関する対象建築物を拡充する要綱改正を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	耐震化率向上のための耐震改修は、無料耐震診断がベースとなるため、令和5年度以降も無料耐震診断のPRは、耐震ローラー作戦をはじめ、積極的に実施する。 愛知県と連携し、除却に関する補助を充実させる情報交換を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 15日

中施策事業名	定住促進関連事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	子育て世帯、又はその親世帯		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	子育て世帯とその親世帯が同居または近居することで、子育てしやすい環境づくりが図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・多世帯同居等補助事業 (同居リフォーム補助、同居・近居に係る固定資産税相当額一部補助)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助申請のうち、 市外からの転入件 数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	25	30	35	35	35	35
	実績値	34	29				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				18, 259千円	16, 488千円		
	a 事業費合計			18, 259千円	16, 488千円	18, 585千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			18, 259千円	16, 488千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				265 円	240 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画どおりに事業を進めることが適当 市外からの転入者件数がほぼ目標どおりだったため、引き続き事業の推進を図る。 初申請の方に対し、アンケート調査を実施した。アンケート結果の集計を検証した結果、本事業の目的に沿って本事業が進んでいることが確認できた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	近隣のハウジングセンターに補助事業案内のチラシの配布協力を求め、事業の周知拡大を図る。また、補助対象者について、不明瞭な部分があるため、要綱の一部見直しを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	多世帯同居等補助事業の成果を踏まえ、当該事業の目的である居住誘導に焦点をおき、立地適正化計画の居住誘導区域への誘導施策実現に向けて、当該事業の見直しを検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 10月 18日

中施策事業名	公園施設整備事業	部課名	経済建設部・都市計画課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる		
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる		
③中施策	身近に安心して遊べる場所を整備する		
④中施策事業の対象	公園		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	老朽化した公園施設の改修や新たな公園整備により、市民が憩える場所が整っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・公園施設改修事業 ・社会資本総合整備事業、市町村土木補助事業 ・公園・緑地の 用地買収		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
改修工事を実施した公園の数（累計）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	5	6	7	8	9	10
	実績値	5	6				
単位	箇所						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				19,500千円	26,876千円	
	a 事業費合計			19,500千円	26,876千円	31,877千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	5,311千円	6,800千円
③ コスト (①－②)				19,500千円	21,565千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				283 円	313 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A：計画通りに事業を進めることが適当 皿池公園のリノベーション工事を行なった。 老朽化した公園施設を更新または改修し、安全安心な公園づくりに努めた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	安全安心な公園であるために、荒井公園のリノベーション工事や改修工事を実施予定である。また、都市構造再編集集中支援事業の一つとして、三崎水辺公園改修計画を実施予定であり、アンケートによって利用者の満足度などの把握を行い、共生社会に向けた交流の場を目指し計画を進める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	長田公園のリノベーション工事を実施予定である。また、令和4年度に行う三崎水辺公園改修計画の詳細設計を実施予定である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等